やさしく　かしこく　たくましく

山本小学校だより

令和７年１０月１日
Ｎｏ．８
文責　宮村　まり

昨日、前期終業式を行いました　本日10月1日から後期のスタートです

２学期が始まって一ヶ月、一年の半分の前期が昨日終了しました。本校は３学期制ですが、「前期」「後期」という区切りもあり少々ややこしいのですが、節目として式を行いました。

さて、本日１０月１日から後期の始まりです。「こんな風になりたい」「こんなことを頑張ろう」と自分で心に決めること、そして、結果はどうあれ、それを実際に実行に移す過程での経験が成長の糧になることは言うまでもありません。結果はどうあれ、まずは行動に移してやらないと前進はありません。**「為せば成る、なさねばならぬ、何事も、ならぬは人の為さぬなりけり」** 江戸時代、米沢藩主の上杉鷹山の言葉です。私は、子どもの頃よく見ていた TV「がんばれロボコン」で知った言葉です。「無理だと思ってやらなかったり、あきらめ努力しなかったりすると、絶対に実現できない。成し遂げるには根気強くやり続けることが大事なんだ」という心の持ち様を表した言葉です。昨年来てくださった元Ｊリーガーの方も、「あきらめる理由を探すのでなく、あきらめない理由をさがそう」という言葉を子どもたちにプレゼントしてくださいました。

後期も向上心に溢れる山本小の子どもたちが、成長していく姿を後期も応援していきます。

通知表はこれからの振り返りに活用

前期の子どもたちの様子をお知らせする通知表を昨日お渡ししました。通知表でお伝えできるのは子どもたちの生活の一部ではありますが、担任の先生たちは、子どもたちやご家族に何をどう伝えればよいか、一生懸命考えて作成しています。一回読むだけでなく、振り返りの時などに何度も見直しながら活用してくださると嬉しいです。

時折、通知表を渡すと、「三十丸がいくつ！」と数に一喜一憂している人もいますが、大事なのは「何が」というところです。今後めざす方向が見えてきます。保護者の皆様には、子どもたちが読み解くお手伝いをしていただきたく思います。また、頑張った「ご褒美」についてですが、夏休みに受けた「やる気」についての研修で、頑張る動機の持ち方でその先の物事に頑張る姿勢に違いが出るというお話がありました。そのこと自体ではなく別のこと（ご褒美がもらえる等）にやる気の動機付けがなされる（外発的動機付けというそうです）と、向上することや頑張りに楽しさや充実感を感じるより「ご褒美をもらうこと」が目的となり、次第にご褒美がないと「頑張る意味」を持てなくなることもあるそうです。自分の中に学びが蓄積され成長することが一番の宝物だと思います。

10・11 月の行事予定

10月　6日 教育委員会より学校訪問
7日 決団断式 視力測定（~9日）
8日 体育授業支援事業
9日 PTA 合同委員会・執行部会
21日 稲刈り（5年生）
22日 運動会のための振替休業日
24日 運動会準備
25日 運動会
26日 運動会予備日（25日が雨天の場合）
27日 弁当日
28日 芸術鑑賞（ミュージカル鑑賞）
11月 1日 心かがやけ月間
6日 1・2年生見学旅行
7日 火災避難訓練
11日 バドミントンマスターズ観戦（4~6年）
12日 地区人権研・4時間授業（簡易給食）
18日 来て来て先輩（ヴァイオリン鑑賞）
19日 熊本市学力検査①国・理
就学児検診
20日 3・4年生見学旅行
21日 熊本市学力検査（②）算・社
25日 5年生集団宿泊教室（~27日）
28日 熊本市連合音楽会（6年生）
朝：油回収時にロアッソ君来校

※変更の場合は、事前に「すぐーる」や学年のお便りなどで、お知らせいたします。